

## 平成21年度 府中市防災会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成21年7月16日（木）午前10時から午前11時まで
- 2 開催場所 府中市役所北庁舎3階第2会議室
- 3 出席委員 野口忠直会長 赤荻一男委員 長野みさ子委員 本田忠俊委員  
中島信一委員 田中健司委員 山岸則夫委員 星良幸委員  
鎌田義恵委員 監物正委員 久保謙治委員 市村近夫委員  
横田実委員 待谷知康委員 早川美穂委員 梅影忠二委員  
宮下篤委員 都筑康夫委員 杉田廣己委員
- 4 事務局 石阪康平環境安全部次長（兼）防災課長 石川佳正防災課長補佐（兼）災害対策係長 長谷川災害対策係事務職員
- 5 議 事
  - (1) 審議事項  
平成21年度府中市総合防災訓練について
  - (2) 報告事項  
平成21年度災害対策主要事業について
- 6 公開・非公開の別  
公開（傍聴者の数 0名）

### 《会議内容（要旨）》

**石川補佐** 大変お待たせしました。定刻となりましたので、ただ今より府中市防災会議を開催させていただきます。

まずはじめに、本会議の会長であります野口市長よりごあいさつを申し上げます。会長よろしく願いいたします。

（野口会長、挨拶）

**石川補佐** 引き続きまして、人事異動等により委員の交代がございましたので、ここで新たに委員に委嘱させていただきました方をご紹介します。お名前をお呼びいたしますので、誠に恐縮ですがご起立ねがいます。

（新委員を紹介）

**石川補佐** 以上、新委員をご紹介します。

それでは、これより議事に移らせていただきます。会長よろしく願いします。

**野口会長** それでは、府中市防災会議運営規程第3条に基づき、議事につきましては部会長であります私が行うこととなっていますので、皆様のご協力によ

り円滑に会議を進めたいと思います。よろしくお願ひ申しあげます。

議事(1)の審議事項「平成21年度府中市総合防災訓練について」を議題といたします。事務局、説明ねがいます。

**石川補佐** 本日、ご審議いただきます審議事項「平成21年度府中市総合防災訓練について」は、平成21年7月2日に開催された、当会議の専門部会である地震部会において了承されましたので、ここにご報告いたします。

それでは了承されました内容について、ご説明いたします。

(事務局、資料 - 1 に基づき説明)

**野口会長** 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

(質疑なし)

**野口会長** 質問等がないようですので、お諮りいたします。「平成21年度府中市総合防災訓練について」ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

**野口会長** ないようですので、「平成21年度府中市総合防災訓練について」は承認されました。

続きまして、議事の(2)の報告事項の「平成21年度災害対策主要事業について」事務局、説明ねがいます。

(事務局、資料 - 2 に基づき説明)

**野口会長** 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

(質疑なし)

**野口会長** 質問等がないようですので、以上をもちまして、本会議の議事は全て終了いたしました。4「その他」ですが、事務局の方で何かありますか。

**石川補佐** 本日、ご出席いただいております本田府中警察署長様、市村府中消防署様、牧東京電力株式会社多摩支店武蔵野支社府中制御所長様、早川東京ガス株式会社多摩支店長様より、活動状況等について、お話を承りたいと存じます。

**野口会長** それでは、本田府中警察署長様、よろしくお願ひいたします。

**本田委員** これから出水期を迎えることとなりますが、府中市は多摩川に面しているため十分に注意する必要があると考えています。また、市内で集中豪雨

の発生等によってアンダーパス等が冠水した場合は、交通規制を実施する予定となっています。

**野口会長** ご説明ありがとうございました。何かご質問がございますか。

(質疑なし)

**野口会長** ないようですので、続きまして、市村府中消防署長様、よろしくお願いたします。

**市村委員** 一説によると、今後30年間以内にマグニチュード7以上の地震が発生する確率は70%とも言われており、震災対策は正に喫緊の課題であると考えています。

府中市地域防災計画による被害想定では、マグニチュード7以上の多摩直下地震が発生した場合、府中市内では15件の火災発生とともに多数の家屋の焼失が想定されています。震災時に発生する火災の特徴は同時に多発することです。これに加え、家屋等の倒壊に伴う通行障害の発生、水道管の破損に伴う消火栓の使用不能、水利が限定されることに伴う火点までの長距離ホース延長などの悪条件が重なり、散発的であった火災が合流し大規模火災になる可能性があります。

大規模火災の発生を防止するためには、消防署と消防団の連携が必須となるため、日頃からの連携訓練が重要になります。昨年10月に実施した連携訓練では、寿町の市民プールから大国魂神社までホースを連結させて放水する訓練を実施し、非常に効果的なものであったと考えています。また、実際の市街地を貫通させて訓練を実施するにあたり、市民の方々には不都合な部分もあったかと思いますが、市民の皆様からはご理解とご協力をいただき大変感謝しております。

このように日頃から震災対策に取り組んでおりますが、やはり実際の災害発生時には公的機関のみの対応では限界があり、今後も自助・共助の啓発のため自治会等には積極的に働き掛けていきたいと考えています。

昨今の府中市内における火災では、発生件数自体は減少しているのですが焼損面積は増加している傾向があり、これは火災の発見が遅れているのが主な原因であると考えられます。このためにも、住宅用火災警報器の設置の啓発が重要になってくると考えています。調査によると現在の府中市内の完備率は約37%と報告されておりますが、平成22年4月1日の設置義務化に向けてローラー作戦を継続していく予定です。

**野口会長** ご説明ありがとうございました。何かご質問がございますか。

(質疑なし)

**野口会長** ないようですので、続きまして、牧東京電力株式会社多摩支店武蔵野支社府中制御所長様、よろしくお願いたします。

**牧制御所長** 2007年に発生した新潟県中越沖地震で罹災した柏崎刈谷原子力発電所は、現在6号機まで修繕が完了しておりますが、営業運転はまだ再開

しておりません。今後の復旧に関しましては、今年度は電力不足を生じさせないように現在調整を行っているところです。

東京電力では、①被災しにくい設備づくり②被災時の影響軽減③被災設備の早期復旧の3点を防災対策の基本方針としています。被災しにくい設備づくりとして、重心が高く地震で大きく揺れる可能性がある空気遮断器などについては耐震補強を実施しており、新規に導入する遮断弁については重心の低いガス遮断弁を導入しています。なお、小柳町にある北多摩変電所ではガス遮断器を採用しています。被災時の影響軽減としては、24時間の監視体制を敷いており、府中市においては府中制御所が基点となります。被災設備の早期復旧としては、復旧資機材の確保を目指しており、多摩支店においては八王子市に資材センターを有しています。また、災害時に病院など早期の電力供給が必要となる場合は、発電車などを用いて対応することになります。

**野口会長** ご説明ありがとうございました。何かご質問がございますか。

(質疑なし)

**野口会長** ないようですので、続きまして、早川東京ガス株式会社多摩支店長様、よろしくお願ひいたします。

**早川委員** 震災に対する設備面での予防対策としては、現在多摩地区においてポリエチレン管の低圧導管への採用を促進しています。ポリエチレン管は伸びや曲りに対する耐性が強く、阪神淡路大震災においてもその安全性が証明されているものです。

また、東京ガスでは震災時のガス漏れ対策として、4段階に自動遮断が行われる仕組みを採用しています。第1段階は各家庭のマイコンメーターとなり、震度5程度の地震が発生した場合に自動的にガスの供給が遮断されます。これは大量のガス供給があった場合などにも作動するものであり、震災対策と同時に平常時の安全対策も兼ねているものです。その他の3段階は、地区ガバナから工場までの3箇所において緊急遮断弁が作動してガスの供給を停止させるものです。以前は緊急遮断弁は人海戦術で対応していましたが、現在では無線によって設備が運用されており、以前とは比較にならない早さでの対応が可能となっています。

また、平成20年10月に開発されたガスコンロは、安全センサーなど3つの安全機能が搭載されたものであり、天ぷら火災などの防止に効果を発揮するものであると考えています。

**野口会長** ご説明ありがとうございました。何かご質問がございますか。

(質疑なし)

**野口会長** ないようですので、事務局より何かありますか。

**石川補佐** ございません。

**野口会長** ないようですので、以上をもちまして、本会議は全て終了いたしました。長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。